

令和4年度 高知県農業農村整備事業環境情報協議会 議事録

開催日時：令和5年2月21日（火）

開催場所：オーテピア高知図書館 4階 研修室

委員：高知県農業農村整備事業環境情報協議会委員

- ・佐藤 周之：高知大学農林海洋科学部教授【座長】
- ・關 伸吾：高知大学農林海洋科学部教授
- ・細川 公子：高知県自然観察指導員連絡会 副会長
- ・常川 真由美：環境省四国環境パートナーシップオフィス 所長
- ・東山 郁子：山田堰井筋土地改良区 事務局次長

【事業名】農村地域防災減災事業

【地区名】西山3期地区

【市町村名】室戸市

【事業概要】ため池整備 2箇所

【事業工期】令和5年度～令和9年度

[説明者：安芸農業振興センター]

【環境配慮方針の説明】

- 生態系調査の結果、希少種は確認されていない。
- 下記項目を「環境配慮方針」とし、施工方法や維持管理等について、今後地元関係者と協議を行ない、協力が得られる範囲内で実施していきたい。
 - ・植物については、工事実施前に生育地の埋土種子を含む表土を保存し、整備後に生育場所に戻すか、類似環境を探し、移植などの措置を講ずる。また、生物については、工事実施の際に工事の影響がない生息適地に移動させる措置を講ずる。
 - ・特定外来生物（ウシガエルの幼生）の駆除及び、下流への流下の防止。
 - ・工事区域下流部に沈砂池を設けるなど工事中の濁水の流出を極力抑制する。

【質疑】

(座長)

各委員の方は、ご意見、ご質問等をお願いします。

(委員)

〇〇〇〇の仲間は、〇〇〇〇だと思います。花の色はあまり関係ないです。〇〇〇〇だったら、そこら辺り結構個体数があるので、花が今あると思うので、見ておいて下さい。

(事務局)

分かりました。

(委員)

炭焼谷の調査でレッドではないですけど、〇〇〇〇は、高知県の東の方には記録されてないです。絶対ないとは言えません。私が見てないだけで、調査で上がってないだけかもしれませんけれども、〇〇〇〇が室戸に出てくると分布図が変わってきますので、もう一度、確認していただきたいです。

(事務局)

分かりました。

(委員)

もし分からなかったら、標本取っていただいて見せていただいたら、分かりますのでよろしくをお願いします。

(委員)

〇〇〇〇属の個体が確認された場所ってというのは、斜面みたいなどこになるのですか。

(事務局)

そうです。斜面からちょうど斜面の終わり口ぐらいのところになります。

(委員)

仮設計画のへりのぎりぎりの部分だったら、〇〇〇〇とか、そういう二次林系の場所と思いますが、伐開しないで工事ができる方法があれば、ここにした方がいいと思いました。

その他の場所でも多く見られたということなんですが、〇〇〇〇と〇〇〇〇の環境に適しているとされたんですけど、果たして、そうなのか、これからどんどん〇〇〇〇が入って、また環境が悪化する場所じゃないかというふうに見れたんですけど、そういう意味で、移植を全部こちらにするという選択がいいのかのは、気になったので意見をください。

(事務局)

まず、工事については、先ほど言いましたように、工事用道路をつくって、堤体の中に入る予定です。また、洪水吐という水路をつくりますので、多少は掘削が必要になると思います。

もう一つ考えているのが、この堤体周辺の表土を一度剥ぎ取ります。これについては、こういう有機物が入った土が堤体に入ると漏水等の影響も懸念されるので、表土を一部仮置きして、工事が終わったときに、法面のへりとかに戻し、少しでも環境が復元するように、

業者の協力を得て行う予定です。

そういう状況の中で、こちらの方が環境的に良く個体数も多いので、移設をして、後でこちらに戻すとかいうことは検討したいと思います。

地域の協議会のメンバーに、中学校の校長先生がおり、こういう地域の財産を環境教育の中で、特に魚類になるとは思いますが、メダカやフナなどが見つければ、小学校で、一時避難的に飼っていただけるとの回答を得ております。ため池の水を抜いた状況で、外来生物以外のものが発見された場合は、近隣小学校や教育委員会と協議をして、環境教育に生かすよう考えています。

(委員)

この堤内の池の中の生物層は、まだ調べられていないということですね。水を抜くときに判断をします。それで外来種的なブラックバスとか、コイとか、そういうのは取り除くという考えでよろしいですか。

(事務局)

目視範囲での確認や管理者さんに確認した中では、ブラックバスはいるみたいなので、水を抜くときに下流に流さないよう、網等を張って捕獲した上で駆除を考えています。

あと、ウシガエルの幼生が確認されていますので、こちらも下流に卵が流れないようにした上で駆除するよう考えています。

もし、メダカとか、在来種が残っていれば、他の池に移動するとか、そういったことを考えています。

コイについては、まだ確認しておりませんが、もしあれば、コイヘルペスの影響があるので、他の池に移さず駆除という形になろうかと思えます。

(委員)

遮水シートを設置することで漏水を防止し、堤体強度を上げるということで、こちらの地区以外にも関係しますが、そのシートの上に、一度剥いだ表土をかけた時に、今まで除けていた部分と従前からある土と、剥いでいた表土と一緒に接合した段階で、上手に元に戻ることは可能なんでしょうか。

(事務局)

シートについては、池の上流側の常時水が溜まる場所に設置するので、植物は生えないと考えています。

下流側の法面は、1割5分から1割8分の緩い勾配で改修をしますので、対象はその下の方になります。法面に表土を置いても雨が降ると流れてしまうので、その地山と堤体との境の部分に厚めに盛っておくことで、そこから種子が流れて堤体の方に生えていくような考えでいます。

堤防本体の工事においては、土の品質を確保し、良質土で盛土を行う必要があるため、堤体の構造に影響のないところに、表土を置いて、環境が戻りやすいようにしたいと考えています。

(委員)

分かりました。

(委員)

〇〇〇〇はそれほど珍しい〇〇〇〇の仲間じゃないですけど、〇〇〇〇の仲間は、分布を広げる力はすごく弱いんです。だから、同じところに全部移植すると、そこがやられたら、全てなくなりますので、環境の近いところに分散して移植してください。

その際は、牧野植物園に相談しながら、やっていただきたいと思います。

(事務局)

分かりました。相談させていただきます。

(座長)

できれば周辺の池の生物層、特に、どういう動物がいるのか、水生昆虫も含めて、絶滅危惧種、準絶滅危惧種がいる可能性があるのであれば、あらかじめ念頭に置いた工事が望ましいと思います。

(事務局)

近隣の施工箇所になりますが、水を抜くと、フナとメダカが多数出てきまして、可能な限り網ですくい、フナは隣の池、メダカは飼っていただける方にお預けし、工事完成後にブラックバスがいないことを確認した上で放流をしています。

今後も、地元の小学校に事前に相談をして、環境学習を兼ねた受け入れ先を確保した上で工事を進めるように考えています。

(座長)

事業の執行においては、各委員から出てきたご意見等を踏まえて、環境への配慮に留意をしていただいて、創意工夫のある施工をお願いしたいと思います。

【事業名】農地域防災減災事業

【地区名】赤野地区

【市町村名】安芸市

【事業概要】ため池整備 2箇所

【事業工期】令和5年度～令和9年度

[説明者：安芸農業振興センター]

【環境配慮方針の説明】

- 生態系調査の結果、希少種は植物で3種、昆虫類で1種が確認された。
- 下記項目を「環境配慮方針」とし、施工方法や維持管理等について、今後地元関係者と協議を行ない、協力が得られる範囲内で実施していきたい。
 - ・植物については、工事実施前に生育地の埋土種子を含む表土を保存し、整備後に生育場所に戻すか、類似環境を探し、移植などの措置を講ずる。また、生物については、工事実施の際に工事の影響がない生息適地に移動させる措置を講ずる。
 - ・特定外来生物（オオクチバス、コイ、ミシシippアカミミガメ、ウシガエル）の駆除及び、下流への流下の防止。
 - ・工事区域下流部に沈砂池を設けるなど工事中の濁水の流出を極力抑制する。

【質疑】

(座長)

各委員の方は、ご意見、ご質問等をお願いします。

(委員)

〇〇〇〇は、以前はNTだったんです。今回の改正で除外し、注目種にしています。

この〇〇〇〇は、分布が面白いキクで、つる性の植物で、ヒマラヤにあって台湾の山岳に出て、日本では海岸に出てきます。それも高知県、徳島県、紀伊半島と、分布がすごく面白いキクなんです。高知県ではすごく増えていますので、特別な保護はいらないと思います。

〇〇〇〇は、どっかから逃げてきたものだと思います。竹林のあちこちで出てきて、今回、除外しました。自生のものかどうか分からない分がいっぱい出てきまして、本来なら岩場に出てくるとか、自然度の高いところに出てくる植物なんですけど、シダの仲間ですが、もうそこら辺りにいっぱい出てくるし、これは逃げたものかだと思います。

また、ナギランはそれほど珍しいランではないが、きちんと移植していただきたいと思います。

(事務局)

ありがとうございます。

(委員)

長池は水抜きをするんですね。水抜きをする場合に、池の上流に土のうを置いて、仮締め切りみたいな形で環境を残すというようなことも、提案されていて、そういう対応が標準化されていないのかと思いました。やっぱり全部水を抜くというインパクトよりは、一部でもそういう環境を残すなどの環境への配慮を、全部の工事で検討して盛り込むことで、検討の幅が広がると思います。

(事務局)

長池は、工事用道路を上流の池の中につくり、現在、施工ヤードを準備しています。また、下流側は、広い土地がなく、工事の資材や掘削土を置くところが全くないということで、池の中を使わざるを得ず、水をためることが困難と判断をしています。

先に説明しました室戸の西山3期地区の2池がある地域は、高知県でため池が一番多い地域で、65池近くあり、近くにも同様の池があるため、一時的に近隣の池に生物を動かし、工事では施工性を優先し、水を抜いています。今回の意見を踏まえ、他のセンターの施工方法等も確認した上で、環境に配慮した対応も実施設計のときに検討していきたいと思えます。

(事務局)

今後、県としても先ほどの意見を尊重させていただきながら、標準工法として、第一義的には水を抜かない方法、あるいは一部分でもためておく方法、そういったことを検討し、工法や設計の方針を決めていきたいと思っています。

(座長)

事業の執行にあたって、各委員のご意見をしっかりと踏まえていただきながら、創意工夫ある施工法をお願いします。

【事業名】農村地域防災減災事業

【地区名】小深浦地区

【市町村名】宿毛市

【事業概要】ため池整備 2池

【事業工期】令和5年度～令和9年度

[説明者：幡多農業振興センター]

【環境配慮方針の説明】

- 生態系調査の結果、希少種は昆虫類で1種が確認された。
- 下記項目を「環境配慮方針」とし、施工方法や維持管理等について、今後地元関係者と協議を行ない、協力が得られる範囲内で実施していきたい。
 - ・工事による改変を最小限にする。
 - ・工事前に採集し、工事に影響がない生息適地へ移動する。

【質疑】

(座長)

各委員の方は、ご意見、ご質問等をお願いします。

(委員)

ため池の状況の、○○○○下流域という写真がありますが、この辺りは調査対象にはなっていないですか。

(事務局)

川の部分も入っています。

(委員)

その辺りは、魚は全く出てこなかった。

(事務局)

地元を確認したら、普段は水がないとのことだったので、大雨のときのみ流れるような川と認識しております。

(委員)

それでしたら、魚とかはいなくてもおかしくはありませんね。

あと、保護の対象でないと思いますが、この池、トンボ類が多いなど、これらについては、どう判断するのかなと思ったんですが、例えば、糸トンボとか。

(事務局)

この池の周辺には、良好な自然環境が広くあるので、特別な対応は考えていません。

(委員)

ここの工事をしても周りに自然環境や池が残ってるので、問題はなかろうと。

(事務局)

はい、そうです。

(委員)

環境配慮から少し離れますが、〇〇〇〇が希少種として出ており、一般市民として考えたら、〇〇〇〇はあまり好まれるものではないと思います。

委員の方にもご意見をいただきたいと思いますが、通常だったら、ちょっと怖いというようなこともあるんですけど、保護というより、被害が出ないように、何か対処する必要はないかと思います。ハチなので飛んだりいろいろするかと思うんですけど、巣があったとして考えたときに、工事のときもそうですが、保護の点も必要ですけど、駆除というか、人が立ち入ったとき、接触したときに危害が出ないような対策が必要だと思います。

(委員)

例えば、工事上の安全性に問題があるとか、今回、1個体ということなので、そこまで考えるのかっていうのは分かりませんが、巣があつて、作業上、非常に危険であるという場合は、人の安全性が優先されるんじゃないかと思います。

(座長)

今ここでこうすべきっていう方法は出てこないと思うんです。ただ、やはり、私たちが考えないといけないのは、まず、人の安全、その次に生物種の保全なのかなと個人的には思いますので、注意して工事を進めていただければと思います。

(事務局)

工事中は、確認しながら、また、人の安全を第一に考えたいと思います。

(座長)

そういう情報、この辺に巣があるよというのが分かったら、すぐ周辺の方に周知をお願いします。

(座長)

今の各委員からの意見を踏まえて、また環境の配慮、留意いただきながら施工の方をどうぞよろしくお願いいたします。

【事業名】農村地域防災減災事業

【地区名】香美市2期地区

【市町村名】香美市

【事業概要】ため池整備 3池

【事業工期】令和5年度～令和9年度

[説明者：中央東農業振興センター]

【環境配慮方針の説明】

- 生態系調査の結果、希少種は植物で4種、昆虫類で11種が確認された。
- 下記項目を「環境配慮方針」とし、施工方法や維持管理等について、今後地元関係者と協議を行ない、協力が得られる範囲内で実施していきたい。
 - ・工事区域下流部に沈砂池を設けるなどして、工事中の濁水流出を極力抑制する。
 - ・水中生物等への配慮として、上流側もしくは近隣池に捕獲・移動を行う。その際、ブラックバス等の外来種が確認された場合は駆除を行う。
 - ・周辺環境全般への配慮として、必要以上の森林伐開や掘削法面の露出を控える等、改変工事を最小限にして自然の復元能力を極力確保するような工事施工に努める。

【質疑】

(座長)

各委員の方は、ご意見、ご質問等をお願いします。

(委員)

〇〇〇〇は、高知県では分布してないと思います。草原性の植物ですが、高知県の植物には入ってないし、私も見たことないです。〇〇〇〇は多分、間違いかと思います。

もう一度確認してください。

それから、〇〇〇〇というのも私は知りません。これも高知県の植物誌に出ていませんし、聞いたこともないです。

〇〇〇〇の個体数はどうですか。これは、ラン科で貴重種ですけど、何個体ぐらいありました。これは、開花株ですけど、小さい開花じゃない株もあったら、それも気を付けて移植してください。

(事務局)

〇〇〇〇については、何株とか調査結果に記述がなかったなので、他の植物の再調査と含めて、調査業者に確認をさせます。

(委員)

〇〇〇〇の個体数と、それから移植の方法については、牧野のラン科を特に専門に栽培してる人がいますので、その指導を仰いで、移植とか、それか一時保管するときに注意を払っていただきたいと思います。

(事務局)

分かりました。

(委員)

香美市のため池では、イシガイ類が多いと思います。新池辺りの他のため池で取れていたような記憶がありますが、イシガイ類は、タナゴ類の産卵場として、非常に貴重なものですし、実際に、物部川の周辺にタナゴ類がいなくなってきていますので、ため池を干すときに、そこら辺も注意していただければと思います。カイがあれば、わずかながらいるタナゴが復活することもあるかもしれませんので、注意していただければと思います。

(委員)

新池は、ため池の中にハスがかなり繁殖していましたが、今回の工事のときに、全て除去するのでしょうか。

(事務局)

そうです。

ただ、水を残し仮締め切りするところには、一定残すような形にはなるかとは思いますが、工事の影響がある部分は、撤去を考えています。

(委員)

話しは変わりますが、ホームセンターで買った水草に卵が付いていて、全然違う魚が飼ってた水槽で生まれたというのをテレビで見ました。その土のうを使って水切りをしたときに、ため池の中であまり見てなかった魚の卵だったりとか、そういったものが付いているかなど、確認することはあるのでしょうか。

(事務局)

現状では確認はしていませんが、工事の中で注意深く見ていきたいと考えています。

(委員)

ありがとうございます。

(座長)

今の〇〇委員の提唱は、すぐに何か出てくるようなものではないので、意見として残しておかないといけないものかなと思います。

委員の意見の中で、特に準絶滅危惧種の2種類の植物は、細川委員と連携を取り保存方法の検討をお願いします。また、タナゴは非常に分かりやすく、環境がいいかどうかの指標にもなるような希少種ですので、配慮をしっかりといただければと思います。

【事業名】農村地域防災減災事業

【地区名】大豊町1期地区

【市町村名】大豊町

【事業概要】ため池整備 1池

【事業工期】令和5年度～令和7年度

[説明者：中央東農業振興センター]

【環境配慮方針の説明】

- 生態系調査の結果、希少種は植物で2種、昆虫類で2種が確認され、その他の希少種として2種が確認された。
- 下記項目を「環境配慮方針」とし、施工方法や維持管理等について、今後地元関係者と協議を行ない、協力が得られる範囲内で実施していきたい。
 - ・工事区域下流部に沈砂池を設けるなどして、工事中の濁水流出を極力抑制する。
 - ・水中生物等への配慮として、確認された場合は、上流側もしくは葛原小池に捕獲・移動を行う。その際、ブラックバス等の外来種が確認された場合は駆除を行う。
 - ・周辺環境全般への配慮として、必要以上の森林伐開や掘削法面の露出を控える等、改変工事を最小限にして自然の復元能力を極力確保するような工事施工に努める。

【質疑】

(座長)

各委員の方は、ご意見、ご質問等をお願いします。

(委員)

〇〇〇〇も〇〇〇〇も高知県では多く、すごく人気のある植物なんです。

特に四国、高知に多いんですけど、わざわざ〇〇〇〇を見に高知まで来るんですね。

その普通にあるのがいいわけで、県の観光資源にもなるんです。そういったものが身近なところにこれだけあるっていうのを大事にしてほしいんです。

〇〇〇〇もそうです。これも注目種にしたんですけど、よそではありませんので、大事にしていきたいと思います。

〇〇〇〇は草原性の植物で、九州の草原にはたくさんあります。〇〇〇〇も。それが向こうでは普通にあって、日本全国では珍しくないです。

ただ、高知県はその草原性の植物はすごく珍しくて、できれば種を取って、その草原にまいていただきたい。

(事務局)

分かりました。

(委員)

例えば、〇〇〇〇とかでしたら、その水源に、水がずっと流れるようであれば、そこで生き残ると思います。大事なのは、その水源を切らないように環境を守るということです。あと、メダカもある程度のたまりがあれば、そこで生き残るという気はしますが、どの程度の水源があるかなど、注意していただければと思います。

〇〇〇〇は、最近出てくるんですけど、高知県で増えてるような気がします。

それに、結構飛び回るので、わざわざ守らなくても他の池があれば、そこへ移動して生き残るとは思います。

(座長)

事業の執行にあたって、各委員から出された意見を踏まえて、配慮を適切にお願いできればと思います。

【事業名】 農業競争力強化農地整備事業

【地区名】 波介地区

【市町村名】 土佐市

【事業概要】 区画整理 33.1ha

【事業工期】 令和5年度～令和9年度

[説明者：中央西農業振興センター]

【環境配慮方針の説明】

- 生態系調査の結果、両池で希少種は植物で2種、両生類・爬虫類で3種、魚介類で10種、その他の希少種として4種が確認された。
- 下記項目を「環境配慮方針」とし、施工方法や維持管理等について、今後地元関係者と協議を行ない、協力が得られる範囲内で実施していきたい。
 - ・工事区域の希少種について、植物に対しては、工事前に埋土種子を含む表土を仮置きし、造成後の水田に播き戻す。また、動物に対しては、工事前に採捕し、河川等の工事に影響がない生息適地へ移動させるなどの措置を行う。
 - ・水路の一部（集水柵等）を拡幅し、石積やスロープ等を設置し、生息場創出や個体の脱出を考慮する。

【質疑】

（座長）

各委員の方は、ご意見、ご質問等をお願いします。

（委員）

植物の○○○○、○○○○については、そういった対応でいいと思います。高知県では除外していますが、○○○○は結構強いです。

○○○○も、あちこちの水路とかでも見つかりますが、水田の真ん中にまいても多分無理だと思いますので、まくなら水路沿いですね。

この地区は生き物が多いので、○○○○が来ていると思います。これは疑問なんですけど、そういった環境がやっぱり失われつつあるので、小さな動物だけじゃなく、冬にくる猛禽類なども頭に入れて対応いただきたいと思います。

（委員）

工事の期間がR5からR9ということで長い期間なんですけど、受益面積33ヘクタールを一気に整備すると、相当なダメージが想定されると思いますが、工事を分けてとか、工程の工夫ができるのかお聞かせください。

(事務局)

工程では、1年目は調査や測量・設計の作業になります。本格的に工事が始まるのは、令和6年度からで、地元と調整をしながら、分割して工事を進めるようになります。

(委員)

ありがとうございます。

(委員)

5年かけて整備をされるというところで希少種自体、植物とか動物もそうなんですけど、工区ごとに移動させつつ整備して、またそこへ戻すような形となりますか。

(事務局)

そう考えています。

(座長)

〇〇〇〇について、現況は2面張水路かなと思うんですけど、コンクリートにすると、これ復活が難しいかなと思っています。

例えば、東京でもビル街の中に〇〇〇〇を再生産というか、幼生からちゃんと成虫になるまでの環境をつくるというような取り組みもやっているとありますので、そのテクニクをこういうところに持ってこれるようなことも念頭に置かないと、〇〇〇〇が消えるんじゃないかなと思いましたがいかがでしょうか。

(事務局)

全てに対応するのは難しいと考えておりますが、可能なところで環境に配慮した構造とし、水路幅を広げたり、深さを変えてよどみを作るとか、そのようなことを行いたいと考えております。

(座長)

私も大学のキャンパスの中でビオトープみたいなものをつくって、ホタルの保全をしようとしていますが、土が必要です。水路の中の土もそうですけど、陸に上がって、土の中で活動した後でふ化するとか、羽化するので、なかなか大変だと思いました。

(委員)

正直なところで、〇〇〇〇にしる、カイにしる、結構良い環境があるのに、工事をしなければいけないので、どれだけ守るかを考えながらやっていただければと思います。

この〇〇〇〇や〇〇〇〇が100とか300とか出てくるようなところは、多分、土水路的なところじゃないかと思います。

この池には、こんなふうがたくさんいるということは、そういう環境はある程度、部分的にでも残せば、少しは生物が残るかなという気はしますので、その辺り、少し工夫をしていただければと思います。

また、集水桝等も、ただのコンクリート張りだと、カエルなんかは歩けないと思いますので、石を混ぜて傾斜をつけるとか、せっかく造っても利用できないと、あまり意味もないので、工夫をしていただければと思います。

実際、この〇〇〇〇周辺、仁淀川は、タナゴ類、在来の〇〇〇〇が豊富なところで、右岸側はいないかもしれませんが、左岸側には結構いると思います。そういうカイ類は、左岸側に移動させるとか、産卵所を増やしてやるとか、そういうことも考えてもいいかなと思いますし、できる限り〇〇〇〇で残していただきたいです。

(事務局)

今回、協議いただいたのは農地を整備する土工が主体の工事になりますので、完全に元の環境に戻るかと言われると、難しい面はありますが、可能な限り配慮しながら進めていきたいと思います。

(委員)

土は、よそからは入れますか。

(事務局)

当地区は、一部の農地について、外部から土を入れて高くする計画で、その部分は畑作の導入を予定しています。

(委員)

どこから土を取ってくるかも問題だと思いますが、水田には入れないということですよ。外部からの土の搬入により、外来のものがかなり入ってきますので、それも配慮していただけたらと思います。

(事務局)

はい。

(委員)

大事なのは、集水桝や水路とか、そういう細かいところが動植物の生育環境に影響するので、そこを配慮してほしいということが、委員の総意というふうに思いますのでご検討いただければと思います。

全 体 質 疑

(座長)

全体を通して、各委員の方は、ご意見、ご質問等をお願いします。

(委員)

〇〇〇〇については、繁殖用のメダカが入ってきており、その辺りも注意していただきたいと思います。在来ではない、〇〇〇〇とか結構見掛けますので、池の中のものが全て〇〇〇〇とは思わずに、また、メダカだから他のところに移設しようとかではなく、そこで繁殖したものを元に戻すぐらいの配慮をした方がいいという気はします。

(委員)

初めて参加して、いろんな情報をお聞きして、県の方も皆さんお聞きになったと思います。その情報を知って、どうするのかっていうところで、自分たちだけで考えるのではなく、例えば、事業者さんの提案とか、そういうところで良い提案が上がってくる可能性もたくさんあるかと思っています。

そういったことも取り入れて、良い提案が出たら、それを採用するなど、新しい在り方みたいなのを探っていけたらいいと思いますので、配慮後の成果など、私たちにも情報提供いただけると、土木に対しても、良い考え方を持つんじゃないかと思っていますので、よろしくお願いします。

(委員)

やはり、やりっ放しじゃなくて、その後、モニタリングとか、どうなったっていう結果を知りたいので、施工後はこうなってる、希少種もこういうふうに生きてるとか、これは駄目だったとか、駄目の場合でもきちんとそれは報告をしていただきたいと思います。

(座長)

高知でやっぱり気付くのは自然環境がいいんです。せっかく生き物がいて、それをもう少し配慮しましょうというふうに思います。この協議会があるということは、非常に誇れるところだと思いますし、こっから何かまた次のものが出てくれば、すごく嬉しくなりますので、引き続きどうぞよろしくお願いします。